

農林金融2013年 8月号

信用組合における預かり資産業務等への取組み
(古江晋也)

1990年代後半以降、金融機関店舗における「ワンストップショッピング化」が急速に進展し、各金融機関は新たな収益の柱として預かり資産業務を積極的に推進してきた。昨今では少額投資非課税制度(NISA)の開始(2014年1月)を控え、大手金融機関や証券会社では「NISA口座」獲得競争が加速している。しかし、その一方で投資型金融商品販売を巡るトラブルの増加も懸念されており、より顧客と向き合った対応が求められている。

こうしたなか、本稿では預かり資産の残高や販売額にとらわれず、「リーマン・ショック」時も顧客からの苦情がゼロであった信用組合の預かり資産業務の特徴を、ヒアリング調査をもとにまとめたものである。

改正貸金業法の論点整理と利用者についての分析
(田口さつき)

貸し手への規制を通じて新たな多重債務者を生まないことを狙いとした改正貸金業法の完全施行から3年が経過した。改正点の1つである総量規制により借入できなくなった資金需要者に焦点を当て規制の負の影響を論じる批判が多い。

ただし、金融機関利用者に対するアンケート調査の個票データを用いた分析によると、職業・雇用形態などを判断材料に、貸金業者が借入申請者を敬遠している状況は見られなかった。

その一方で、家計管理、特に貯蓄がうまくできていない人々が貸金業を利用していることがわかった。借り手の家計管理の問題について社会的な対応がなくては、債務問題は形をかえて続くと考えられる。金融機関は、金融経済教育で利用者の家計管理に貢献できるのではないだろうか。

農林金融2013年 9月号

水田稲作における担い手問題と法人経営
(篤谷栄一)

これまで水田稲作の多くを支えてきた兼業農家が急激な減少をたどっている。集落営農、個別経営体の法人化等の動きは見られるものの、これに代わる安定的な地域営農システムを再構築するには至っていない。

担い手はプロ農業と生きがい農業とに二極化し、多様な担い手による多様な農業が進展しつつあるが、外部雇用も可能にしての農業経営の持続性確保、農地の集積、経営管理の強化等が必要であり、このためには法人化が欠かせない。家族経営を基本に置いての一戸一人法人や、法人化した集落営農組織が地域営農の核となることが期待される。

水田稲作は“最後の5年間”に差し掛かっているとはいえ、農地の面的集積には相当程度の時間を要することも覚悟しての支援が欠かせない。

マルチ・ステークホルダー型協同組合の発展とわが国への示唆
(農林中央金庫JAバンク統括部 主監 明田 作)

1990年代にはいり、イタリアの社会的協同組合法を嚆矢として、新しいタイプの協同組合に関する法律の整備が世界的に進展してきている。

その特徴は、組合員共通の利益を追求する従来の伝統的な協同組合と異なり、公益的目的を専ら追求する協同組合を許容していることである。と同時にそれを可能にするため、複数のステークホルダーの参加による組織運営の許容あるいは義務づけといった形でマルチ・ステークホルダー型というべき協同組合を積極的に位置づけていることである。

新たな法律であるため各国の法律の内容の是非を論ずるには早く、学ぶべきは、様々なステークホルダーの組織運営への関与と活動への積極的な参加の重要性であり、そのプロセスである。

農林金融2013年 8月号

地帯区別にみた農協組織・農業生産構造

(内田多喜生)

農中総研独自の地帯区別に、農協の組織・事業及び農協組織が基盤とする農業関連データの組み換え集計を行った。地帯区別にみると、農村部で農協が地域の社会・経済活動に果たす役割の大きさが示唆された。ただし、農村部の社会環境は、今後、人口減少と高齢化の進行が同時に進み、農業生産だけでなく、地域の社会・経済環境がより厳しくなると予想される。

地域農業の維持のための組織化や担い手育成等の取組みは農協組織にとって喫緊の課題になろう。また、地域農業の活性化は、地域の社会・経済活動の活性化にも直結し、人口動態の影響を緩和する有効な方策の一つとみられる。地域経済・社会の維持に向けて、農協及び関連諸団体諸機関が連携して取組みを行っていく必要がある。

農林金融2013年 9月号

(外部寄稿)

人・農地プランとJAの地域農業振興計画

小池恒男〈一般社団法人 農業開発研修センター 会長理事〉

目次

- 1 農業の「成長産業化」「所得倍増」の姿
 - (1) 農業の「成長産業化」の姿
 - (2) 「所得倍増戦略」「日本再興戦略」「参議院選挙公約」から読み取る所得倍増の姿
- 2 人・農地プランの目指すものは何か
 - (1) 人・農地プランの起点
 - (2) 人・農地プランの源流
- 3 地域営農ビジョンの目指すものは何か
- 4 進捗状況を点検する
- 5 プラン・ビジョンを地域農業振興計画にどう取り込むか
 - (1) JAに求められる積極的対応の課題
 - (2) 「含む」「一体的取り組む」の実態
 - (3) 地域農業振興対策の要としての地域農業振興計画
 - (4) 人・農地プランの特徴と対応課題
 - (5) 地域農業振興計画にどう組み込むか

金融市場

2013年 8月号

潮流 米国QE3規模縮小をめぐって

情勢判断

内需主導で緩やかながらも回復基調をたどる国内景気

情勢判断(海外経済金融)

- 1 緩やかな回復基調が続く米国経済
- 2 ユーロ圏の危機対応における潜在的なリスクの拡大
- 3 中国経済：年後半にかけて7%台成長を維持

今月の焦点

中国のインターバンク市場の金利動向

分析レポート

- 1 最近の新興国通貨下落とインド経済
- 2 ポルカールール
- 3 日本の財政④：国債費と国債整理基金特別会計

連載

- 1 物価 古今東西
ハイパーインフレ
- 2 新興国ウォッチ！
中所得国の罌(3)

海外の話題

さまよえる…。

2013年 9月号

潮流 資本と労働の均衡ある分配

情勢判断

回復傾向を強める国内景気

情勢判断(海外経済金融)

- 1 回復基調が強まる米国経済
- 2 ユーロ圏の焦点はソブリンリスクからバンクリスクへ
- 3 景気回復に向けた動きが見られる中国経済

経済見通し

2013～14年度改訂経済見通し

分析レポート

- 1 最近の雇用情勢と労働政策の方向性
- 2 電力システム改革の概要と再生可能エネルギー事業への影響

連載

- 1 物価 古今東西
金本位制と物価変動
- 2 新興国ウォッチ！
中所得国の罌(4)

海外の話題

似て非なる…。